



「ゆめまち」 サービス概要

AIが地域の「夢」を現実に。
伴走支援型LINEサービス



地域の「やりたい」を阻む5つの壁

時間の制約

本業との両立が難しく、状況整理や会議の調整といった管理業務が困難。

複雑な利害調整

多様な関係者の意見が割れ、合意形成が止まってしまう。

住民の声の乖離

一般住民のリアルな声や「やりたい」が企画に反映されにくい。

担い手不足

協力者を見つける仕組みが弱く、一部の特定の人に負担が集中。

情報発信の不足

活動が地域に知られず、無関心や協力者不足の悪循環を生んでいる。



AIが地域課題を解決する「ゆめまち」の仕組み

時間からの解放

会議を前提とせず、LINEで各自が隙間時間に意思決定に参加。

標準化された合意形成

意見収集から投票までをAIがサポートし、円滑な調整を実現。

住民参加の場

住民の「夢」を吸い上げ、地域全体で共有・応援する仕組み。

参加導線の最適化

興味を持った人が気軽に参加できる窓口を標準装備。

一元化された広報

企画の進捗を自動で発信し、地域の関心と関係人口を創出。

LINE × AI で地域活動のハードルを劇的に下げ、持続可能な地域づくりを支援



夢相談：想いを「企画」に落とし込む

STEP 01



対話型コンサル

LIFFアプリで地域夢コンサルタントAIと対話。漠然とした「願い」から、目的・場所・条件を整理し、具体的な「企画」へと昇華させます。

STEP 02



地域情報の活用

AIが蓄積された地域特有のデータを参照。その地域ならではの可能性を広げ、実現可能性の高いアイデアやリソースを提案します。

STEP 03



スムーズな公開

まとまった企画はシステム管理者の承認後、ゆめまちLINE公式アカウントを通じて地域住民へ「新規取り組み」として自動公開されます。



取り組み：AIがPMとしてプロジェクトを完遂



グループLINE常駐

- 活動主体のチャットにAIが参加
- 日々の作業整理と進捗管理
- 必要なタイミングでの合意形成
実行



多角的な相談窓口

- メンバーとの個別DM相談に対応
- 外部からの意見や参加表明を受
付
- 情報のキャッチアップをAIが支
援



深夜の自動レビュー

- 一日のやり取りをAIが深く分析
- 課題や決定事項を自動で整理
- 翌朝、グループに活動指針を報
告

AIが「伴走者」となることで、リーダーの負担を軽減し、活動の継続性を担保します



デジタル合意形成：対立を乗り越え前に進める

STEP 01

意見の収集

論点に対して関係者から多様な回答を集め、現状を可視化。

STEP 02

妥協案の提示

AIが意見を整理し、全員が納得しやすい折衷案を提案。

STEP 03

投票

合意率80%を基準に意思決定。停滞を防ぎプロジェクトを前進。

STEP 04

結果通知

決定内容を即座に共有。透明性の高いプロセスを担保。

デジタルと対面の使い分け



デジタル合意形成

利害が割れそうな論点の整理、効率的な意見収集、標準化されたフローでの意思決定に最適。



対面での調整

アイデア出しや親睦、デジタルで3回ループしても合意できない場合の最終調整に活用。



LINEで完結する直感的なユーザー体験

田 リッチメニューとLIFF



3つの主要メニュー

「夢相談」「取り組み」「プロフィール」の3軸で構成。タップ一つで専用のLIFFアプリが起動します。



シームレスな連携

グループチャットに招待し、コードを送信するだけでAIがプロジェクトマネージャーとして同期されます。



ターゲット別最適化通知

地域住民向け

新規取り組みの公開や、地域アンケートの回答依頼を配信。

活動主体メンバー向け

合意形成の論点整理、折衷案の提案、投票受付をリアルタイム通知。

フォロワー向け

応援しているプロジェクトの進捗状況を定期的にアップデート。



蓄積されるデータが地域の価値を高める



知の再利用

過去の似た企画の判断基準や許可条件、必要な作業工程をAIが学習。次の取り組みをよりスムーズに開始できます。



可能性の拡大

地域特有の情報が溜まることで、AIがより精度の高い提案を実現。想像もしなかった「より良いアイデア」が生まれます。



あなたの「得意」を発見

活動を通じて個人のスキルや貢献をAIが記録。最適なマッチングを支援し、地域の担い手不足を解消します。

使えば使うほど、地域と人が輝くプラットフォームへ